

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Kid'sTech尼崎		公表日 2024年6月15日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		4人掛けのテーブル2台以外に、個別の机3台、集団活動にも使用できる楕円テーブルなども配置しているが、通路の確保の十分できている	プロジェクター使用時に、少し見づらい席がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		常にパソコンを使用するというイメージを減すため、子どもたちの描いた絵などを掲示している	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>			部屋は、準備しているが、少し移動距離ある
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		教室会議などで、課題などを出し合い、共有し改善を話し合う場がある。また、日々の打合せ等でも、気になる点などを共有している	改善後の様子などを振り返っていないところがある
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者から上がってきた意向などは、上司に報告し全体共有を行い、他の教室の業務改善にも役立っている	保護者の意向を吸い上げる機会がまだまだ少ないか
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		日々の打ち合わせだけでなく、教室会議、全体会議など、多くの機会が存在する	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		今年度に制定した安全計画で、職員研修の状況などを職員一同で再確認を行った。各委員会での研修内容も、見直す機会となった。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		<input type="radio"/>	ホームページなどを活用し、支援プログラムの内容や、子どもたちの様子なども公表している	公表については準備中
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		支援会議を行い、計画の作成を行っているが、日々の打ち合わせなどで話題になる事柄も計画に反映できるように工夫している	打ち合わせが口頭で行われることが多いので、効率よく情報を蓄積できる方法を検討
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		パソコンのクラウドドライブに、データが収容されているので、どの社用パソコン方でも確認が可能	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		フォーマルなアセスメントは、独自で行っていないが、日々の様子などをスタッフ内で共有できるようにしている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		専門的支援などを行い、支援の幅が広がるようにしている。	地域との連携は、難しいが、連携できる事業所、団体などを探している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		事業所の特徴としてパソコンを使った支援を子になっているので、その専門性を持ったスタッフも含め、活動内容を検討している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		日々、様々な情報から、活動プログラムへのちょっとした変化ができないかを考えてスタッフ同士の意見交換を行っている	意見交換で終わってすることも多く、なかなか大きな変更はできない。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		パソコンを使用したカリキュラムは、ほとんど個別活動に近いが、集団活動としてのSSTやインターミッションの時間などを考えている	インターミッションなどを支援計画に落とし込めていないところもあるが、活動も浸透してきているので、見直しの中で落とし込んでいく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			利用者が帰った後の行っているため、サービス提供表にまで反映できていないこともある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			同じスタッフが記録を描くことが多いので、多少偏った見方もあるかもしれない。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		モニタリングなどの情報だけでなく、日々の状態を支援会議に上げて、見直し等に反映できるように心掛けている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校のホームページから連携体制のある学校とは連絡を取っている	協力的でない学校もある
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		現在の利用者に対象となる方はいないが、情報共有できるなら保護者を通じてお願いしたい	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		連携が出来ている事業所には提供している	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		必要に応じて、連携を取り、相互に情報共有を行っている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		コロナ以降、他施設等の子ども同士の交流は、積極的に行われていない	感染症などの予防策に違いもあり、積極的な交流は現時点では難しい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		参加を求められているのであれば積極的に参加を希望する	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		お迎えや送迎時などで、日常の様子について、情報交換を行っている	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○				
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	安全計画を定めたことでマニュアルの確認や訓練等の整理が出来た	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	安全計画を定めたことでBCPとその他のマニュアルの確認ができ、避難訓練等の整理が出来た	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○	保護者から情報提供があったことは、スタッフ内で共有できている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	基本的に食事やおやつの提供をしていないので医師の指示書	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		作成されたばかりなので、日々検証しながら、改訂を行い、より洗練された計画で支援の中に活かしていきたい
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	SSTを使って、子どもたちにも安全に関する話をしている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	毎日の打ち合わせで、ヒヤリハットがあれば、共有している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	現在、利用者の行動の自由を奪う身体拘束を行わなければならない事例はないが、必要な様式などは整っている		